

カチオン系ポリマーセメントモルタル

内装仕上塗材

下地調整から仕上げまで

# FUJIKAWAオールインワン

標準施工マニュアル

富士川建材工業株式会社

# INDEX

1.注意事項	
1 内装制限について	2
2 施工における注意事項	3
3 改訂について	3
2.使用材料	
1 使用材料	4
2 使用道具	5
3.適用下地	
1 適用下地	6
2 下地の確認と処理方法	6
3 下地調整	7
4.施工手順	
1 鋳磨き仕様(壁・天井)	8
2 鋳磨き仕様(床:屋内軽歩行に限る)	10
5.注意事項	11

# 1. 注意事項

## 1. 内装制限について

- 「FUJIKAWA オールインワン」(以降オールインワンを記載)は下記条件内で不燃認定を取得しております。

不燃認定が必要な箇所(内装制限:壁又は天井)への施工では、下記条件を遵守してください。

	認定番号	NM-5497
不 燃 認 定 条 件	下地	平成 12 年建設省告示第 1400 号に例示されたアルミニウム及び壁土を除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、金属板を除くもの。 例:コンクリート、繊維強化セメント板、モルタル、厚さが十二ミリメートル以上のせっこうボード(ボード用原紙の厚さが〇.六ミリメートル以下のものに限る)他
	オールインワン	主材(粉体)使用量 0.7~4.0kg/m <sup>2</sup> 且つ、塗り厚 0.5~15mm
	添加材	無機質顔料又は無機質骨材とし添加範囲は、0~30kg/m <sup>2</sup> 以下 オールインワン専用顔料は次の範囲で添加可能です。 ホワイト : 「オールインワン」主材に対して 3%以内 ブラック : 「オールインワン」主材に対して 3%以内 グレー : 「オールインワン」主材に対して 3%以内 ブラウン : 「オールインワン」主材に対して 1%以内 ブルー : 「オールインワン」主材に対して 0.5%以内
	吸水調整材	「シーレックス AF5000」原液で 36g/m <sup>2</sup> 以内 例 1: 富士川シーレックス AF5000 3 倍液(原液:水=1:2) ⇒108g/m <sup>2</sup> 以下 例 2: 富士川シーレックス AF5000 5 倍液(原液:水=1:4) ⇒180g/m <sup>2</sup> 以下 例 3: 希釈液の組み合わせの場合 せっこうボード表面 富士川シーレックス AF5000 3 倍液 70g/m <sup>2</sup> (原液 24g) +オールインワン表面 富士川シーレックス AF5000 5 倍液 60g/m <sup>2</sup> (原液 12g) ⇒原液 36g/m <sup>2</sup>

オールインワン専用顔料のホワイト、ブラック、グレーは無機顔料です。施工性から 3%以内としています。ブラウンとブルーは微量の有機分を含むため、添加量を制限しています(ブラウンとブルーを併用する場合の限度例:ブラウン 0.5%+ブルー0.25%)。

不燃認定にトップコートは入っていません。

不明な点は、弊社事業所までお問合せください。

# 1. 注意事項

## 2. 施工における注意事項

- 「オールインワン」は下地調整から仕上げまで、また仕上げ方法は、磨き仕上げから版築仕上げまで、1つの材料で様々な用途に使用できる、特殊ポリマーセメントモルタルです。

ご希望の仕上げ方法に合わせて、施工者が自由に顔料や骨材を添加する事が可能であり、物件毎のあるいは施工者毎のオリジナルな仕上げ提案が可能です。

そのため施工者は、施工管理者とよく打ち合わせを行い、事前に試験塗りを行ってから実施工に臨んでください。

- 本マニュアルは、施工方法の1例を示したもので、全ての現場に当てはまるとは限りません。  
各施工現場では、本マニュアルでは合致できない様々な状況が考えられますので、施工者におかれましては、施工管理者(元請け)の指示により、各々の現場状況にあった施工及び管理をするようお願いいたします。
- 「オールインワン」は内装用仕上塗材です。水掛かりのある箇所や、内装用仕上塗材以外の用途には使用できません。

## 3. 改訂について

- この施工マニュアルは現時点での資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

## 2. 使用材料

### 1. 使用材料

#### ■吸水調整材

材料名	荷姿	清水 3倍希釈の場合	合計液量	塗布面積 70g/㎡の場合
富士川シーレックス AF5000	18 kg/缶	36ℓ(kg)	54 kg	約 770 ㎡
	4.0 kg/ポリ瓶	9.0ℓ(kg)	12 kg	約 170 ㎡

#### ■モルタル

材料名	荷姿	加水量	練り上がり容量	施工面積
FUJIKAWA オールインワン	15 kg/袋	約 4.0 kg	約 11ℓ	1 mm厚で約 11 ㎡
弾性下地調整モルタル type II	25 kg/袋	約 5.0 kg	約 16ℓ	2 mm厚で約 8 ㎡

#### ■顔料

材料名	荷姿	標準色	標準配合
オールインワン専用顔料	150g 8袋/箱入り	5色 ホワイト、ブラック グレー、ブラウン ブルー	オールインワン 15kg/袋に対し、 オールインワン専用顔料 150g～450g混入 不燃認定に関わる場合は「1.内装制限について」を参照してください
一般市販品	マイン等の顔料が使用可能です。事前にご確認ください。 不燃認定に関わる場合は「1.内装制限について」を参照してください		

#### ■骨材

一般市販品をご利用ください。

不燃認定に関わる場合は「1.内装制限について」を参照してください。

#### ■トップコート

材料名	荷姿	使用量	塗り回数	希釈	施工面積
FUJIKAWA トップコート F つや消し	500g/本 6本/箱入り	100～130g/㎡	1回	水道水 5～10%	約 4～5 ㎡/本
FUJIKAWA トップコート F つや有り	500g/本 6本/箱入り	100～130g/㎡	1回	水道水 5～10%	約 4～5 ㎡/本

※ 水系 1 液型トップコート

## 2. 使用材料

### 1. 使用材料

#### ■その他副資材

材料名	荷姿	施工面積	特徴	用途
アリスガラスファイバーネット 又は TAG ネット	1m幅×50m／巻	47 m <sup>2</sup> /本	耐アルカリ性ガラス 繊維ネット	全面ネット
SSテープ	50mm 幅×153m／巻	153m	ガラス繊維メッシュ 粘着材付き	ジョイントテープ

### 2. 使用道具

- ・電動ミキサー
- ・練りダル
- ・バケツ
- ・ひしゃく
- ・秤(電子天秤)
- ・計量容器
- ・ステンレスコテ
- ・刷毛
- ・コテ刷毛
- ・ウールローラー
- ・ローラーバケツ
- ・電源
- ・足場
- ・養生材 等

### 3. 適用下地と下地調整

#### 1. 適用下地

①	せっこうボード 壁・天井等	平ボード(スクエアエッジ)、Vカットボード(ベベルエッジ)等 厚み 9.5 mm以上せっこうボード
②	既存ビニールクロス下地	クロス部分に剥がれ、膨れ、下地との接着不良箇所が無いこと。
③	コンクリート	コンクリート下地は含水率10%以下
④	合板 床仕様	厚み 12 mm以上の合板

#### 2. 下地の確認と処理方法

①	せっこうボード	せっこうボードは突付け張りし、取付けビス(釘)はステンレス製の製品又は防錆処理がされたせっこうボードビスを使用してください。取付けビス(釘)のピッチは周辺部 100 mm～150 mm、一般部 150 mm～200 mmを標準とします。
②	既存ビニールクロス下地	クロス部分に剥がれ及び膨れ、下地との接着不良箇所 及び汚れや付着物の無いことを確認してください。
③	コンクリート	コンクリート面は、目違・ジャンカ・巣穴及び凸凹部・欠損部等は、事前に樹脂入りモルタルまたはオールインワンで、不陸の無いように全面補修してください。
④	合板 床仕様	合板は突付け張りし、取付けビスはステンレス製の製品を使用してください。あばれのない様に、確実に固定してください。事前にアク止め処理を行ってください。

## 3. 適用下地と下地調整

### 3. 下地調整

①	せっこうボード	<p>「富士川シーレックス AF5000」3倍希釈液(70g/m<sup>2</sup>:2回塗り)にて吸水調整を行ってください(せっこうボードはアルカリ性に弱いので直接塗れません)。</p> <p>乾燥確認(手でさわって湿り気が無い状態)後、ボードのジョイント及び出隅・入隅部分にSSテープを貼付けてください。</p> <p>所定の配合にて混練りしたオールインワンを、約1.0mm厚に塗付けます。塗付けはコテ圧を掛けて下ごすりを行い追掛け所定の厚さに仕上げます。</p> <p>Vボードの場合は、少し固めに混練りしたオールインワンを、ジョイントに充填してから、追っかけ全面塗りを行ってください。</p> <p>オールインワンの仕上げ厚が薄い場合、下塗りの状態を反映致しますので、ご注意願います。</p>
②	既存ビニールクロス下地	<p>「富士川シーレックス AF5000」3倍液にて吸水調整を行ってください。</p> <p>「富士川シーレックス AF5000」の乾燥確認(手でさわって湿り気が無い状態)後、所定の配合にて混練りしたオールインワンを、約1.0mm厚に塗付けます。塗付けはコテ圧を掛けて下ごすりを行い、追掛け所定の厚さに仕上げます。</p> <p>オールインワンの仕上げ厚が薄い場合、下塗りの状態を反映致しますので、ご注意願います。</p>
③	コンクリート	<p>「富士川シーレックス AF5000」5倍希釈液(120g/m<sup>2</sup>:2回塗り)にて吸水調整を行ってください。</p> <p>不陸調整が必要な場合は、「富士川シーレックス AF5000」の乾燥確認(手でさわって湿り気が無い状態)後、所定の配合にて混練りしたオールインワンを、約1.0mm厚に下塗りします。塗付けはコテ圧を掛けて下ごすりを行い、追掛け所定の厚さに仕上げます。</p> <p>オールインワンの仕上げ厚が薄い場合、下塗りの状態を反映致しますので、ご注意願います。</p>
④	合板床仕様	<p>合板のジョイント部及び出隅・入隅にはジョイントテープを貼り付けますが、床の使用頻度等によってグラスファイバーネットの全面貼りを施してしてください。</p> <p>「富士川シーレックス AF5000」3倍液(2回塗り。アク止めシーラーが施工されている場合は1回塗り)にて吸水調整を行ってください。</p> <p>「富士川シーレックス AF5000」乾燥確認(手でさわって湿り気が無い状態)後、所定の配合にて混練りした、弾性下地調整用モルタル TYPE II を、塗厚1.5~2.0mm程度塗付けます。塗付けはコテ圧を掛けて下ごすりを行い追掛け所定の厚さに仕上げます。グラスファイバーネットの全面貼りは弾性下地調整用モルタル TYPE II に伏せこんでください。</p> <p>弾性下地調整用モルタル TYPE II は下塗り材の為、下地の状態を反映致しますので、ご注意願います。</p>

## 4. 施工手順

- 関係者は事前に打ち合わせを行い、工程、施工管理の確認を行ってください。
- 工期は塗り面積、人数、作業条件、気象条件等を考慮し、施工前に打ち合わせをし、無理のない工程としてください。

### 1. コテ磨き仕様(壁・天井)

#### ■オールインワンの塗り付け

①	吸水調整材の塗布	富士川シーレックス AF5000 5倍希釈液(重量比 原液:水=1:4) 刷毛又はウーローラーにて2回塗布(60g/m <sup>2</sup> )して下さい。その際1回目の塗布の乾燥を確認後、2回目を塗布して下さい。			
↓		乾燥後(手でさわって湿り気が無い状態:20℃、2時間以上)			
②	オールインワンの混練り	電動ハンドミキサーを使用し、容器でオールインワンと顔料を混ぜ合わせる。徐々に水を加え、混練りする。練りダルの底や、電動ミキサーの羽に付着した材料を綺麗に落とし、均一になるように再度混練りする(合計攪拌時間:3分目安)。少し固めに練った後、加水調整するのが良い。			
↓		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="205 1108 284 1429">③</td> <td data-bbox="284 1108 608 1429">オールインワンの下塗り</td> <td data-bbox="608 1108 1497 1429">           混練りしたオールインワンを、コテ圧を掛けながら下ごすりし、追掛け骨材が転がらない程度の厚さ(0.8mm程度)にランダムに塗付ける。 (コテ押さえ仕上げの場合はなるべく平滑に塗る)           <div style="text-align: center;">↓</div>           下塗りの水引具合(半乾き程度)を確認し、下塗り時に生じた凸部を完全に潰さない程度に、コテにて軽く押さえる。 (コテ押さえ仕上げの場合は、不要)         </td> </tr> </table>	③	オールインワンの下塗り	混練りしたオールインワンを、コテ圧を掛けながら下ごすりし、追掛け骨材が転がらない程度の厚さ(0.8mm程度)にランダムに塗付ける。 (コテ押さえ仕上げの場合はなるべく平滑に塗る) <div style="text-align: center;">↓</div> 下塗りの水引具合(半乾き程度)を確認し、下塗り時に生じた凸部を完全に潰さない程度に、コテにて軽く押さえる。 (コテ押さえ仕上げの場合は、不要)
③	オールインワンの下塗り	混練りしたオールインワンを、コテ圧を掛けながら下ごすりし、追掛け骨材が転がらない程度の厚さ(0.8mm程度)にランダムに塗付ける。 (コテ押さえ仕上げの場合はなるべく平滑に塗る) <div style="text-align: center;">↓</div> 下塗りの水引具合(半乾き程度)を確認し、下塗り時に生じた凸部を完全に潰さない程度に、コテにて軽く押さえる。 (コテ押さえ仕上げの場合は、不要)			
↓					
④	オールインワンの混練り	②にて混練りしたオールインワンよりも、やや緩め(規定量より5%程度多めの添加水を混入)に水を加え、②同様に混練りする。			
↓		③の下塗りが動かなくなるまで放置(20℃:10~20分程度)			
⑤	オールインワン 仕上げしごき塗りの施工	③にて凸部を押えたオールインワンの面に、④で混練りしたオールインワンを塗りつける。凸部よりやや厚め(0.3mm程度)に、均一に塗付けながら平滑に押える。下塗りしたパターンが乾燥と共に浮き上がります。ステンレスコテ(0.3mm厚程度)を使用してください。(コテ押さえ仕上げの場合は「トップコート塗り(オプション:推奨仕様)」に進む)			

## 4. 施工手順

### 1. コテ磨き仕様(壁・天井)



20℃:20~40分程度放置

⑥	オールインワン 仕上げコテ磨きの施工	⑤にて平滑に押えたオールインワンの表面を、再度2~3回程度平滑に押える。 オールインワンが動か無いことを確認し、コテにて磨く様に押えて仕上げる。 ステンレスコテ(0.3mm厚程度)を使用してください。
---	-----------------------	--



20℃:20~40分程度放置

⑦	※ オプション オールインワン 仕上げコテ磨きの施工	⑥にて磨く様に押えたオールインワンを、より光沢を持たせるために、再度数回コテを通し、磨きを施し仕上げる。 ステンレスコテ(0.3mm厚程度)を使用してください。
---	----------------------------------	---

### ■トップコート塗り(オプション:推奨仕様)

オールインワン施工翌日以降、オールインワンが乾燥したのを確認してから、下記工程に進んでください。

①	吸水調整材の塗布	富士川シーレックス AF5000 7倍希釈液(重量比 原液:水=1:6) 刷毛又はウーローラーにて1回塗布して下さい。
---	----------	--



乾燥後(手でさわって湿り気が無い状態:20℃、2時間以上)

②	FUJIKAWA トップコートF (つや消し又はつや有り)	希釈	塗り回数	塗布方法	使用量	施工面積
		水道水 5~10%	1回	ローラー 刷毛	100~130g/m <sup>2</sup>	約4~5m <sup>2</sup> /本

#### ※ FUJIKAWA トップコートF についての注意事項

- ・ 不燃認定対象外です(不燃認定にトップコートは入っていません)。
- ・ 一液型のため、アルコールを付けてこすると、FUJIKAWA トップコートF が拭き取られる事があります。
- ・ 醤油、洗剤などは時間と共にシミになりますので、直ちにふき取ってください。
- ・ つや消しは、乾燥が遅くなるとつやが出やすくなります。換気をよくし、乾かしてください。

## 4. 施工手順

### 2. コテ押さえ仕様(床:屋内軽歩行に限る)

#### ■オールインワンの塗り付け

①	<p>3-3-④「下地調整」の、弾性下地調整用モルタル TYPE II 塗り付け後、当日施工します。</p> <p>翌日以降になる場合は、富士川シーレックス AF5000 5 倍希釈液(重量比 原液:水=1:4) 刷毛又はウーローラーにて 2 回塗布(60g/㎡)して下さい。</p> <p>その際 1 回目の塗布の乾燥を確認後、2 回目を塗布して下さい。</p>
---	--



弾性下地調整用モルタル TYPE II を、スリッパ等上履きで乗れる状態まで乾燥させる。  
20℃:2時間以上

②	オールインワンの混練り	<p>電動ハンドミキサーを使用し、容器でオールインワンと顔料を混ぜ合わせる。</p> <p>徐々に水を加え、混練りする。</p> <p>練りダルの底や、電動ミキサーの羽に付着した材料を綺麗に落とし、均一になるように再度混練りする(合計攪拌時間:3分目安)。</p> <p>少し固めに練った後、加水調整するのが良い。</p>
---	-------------	---



③	オールインワンの施工	<p>所定の配合にて混練りしたオールインワンを、コテ圧を掛けながら下ごすりを行い、追掛け所定の厚さ 1.0 mm 程度で、平滑に塗り、押さえる。</p> <p>ステンレスコテ(0.3mm 厚程度)を使用してください。</p>
---	------------	--

#### ■トップコート塗り(オプション:推奨仕様)

オールインワン施工翌日以降、オールインワンが乾燥したのを確認してから、下記工程に進んでください。

①	吸水調整材の塗布	<p>富士川シーレックス AF5000 7 倍希釈液(重量比 原液:水=1:6) 刷毛又はウーローラーにて 1 回塗布して下さい。</p>
---	----------	---



乾燥後(手でさわって湿り気が無い状態:20℃、2 時間以上)

②	FUJIKAWA トップコート F (つや消し又はつや有り)	希釈	塗り回数	塗布方法	使用量	施工面積
		水道水 5~10%	1 回	ローラー 刷毛	100~130g/㎡	約 4~5 ㎡/本

#### ※ FUJIKAWA トップコート F についての注意事項

- ・不燃認定対象外です(不燃認定にトップコートは入っていません)。
- ・一液型のため、アルコールを付けてこすると、FUJIKAWA トップコート F が拭き取られる事があります。
- ・醤油、洗剤などは時間と共にシミになりますので、直ちにふき取ってください。
- ・つや消しは、乾燥が遅くなるとつやが出やすくなります。換気をよくし、乾かしてください。

## 5. 注意事項

### 安全上の注意

- ◎SDSを確認し、理解してから使用してください。
- ◎取り扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用してください。
- ◎皮膚に付着した場合は清浄な水で十分に洗い流してください。
- ◎目に入った場合は、ただちに清浄な水で目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受けてください。
- ◎粉塵等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ◎飲み込んだ場合は清浄な水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の手当を受けてください。
- ◎取り扱い後は手洗い及びうがいを十分行ってください。
- ◎飛散した材料は、掃除機等で吸い取って回収してください。
- ◎子供の手の届かないところに保管してください。

### 使用上の注意

- ◎オールインワンは内装用仕上塗材です。外部等他の用途には使用しないでください。
- ◎施工前に必ず試し塗りを行ってください。
- ◎撥水性の下地、耐アルカリ性の無い下地は、接着しない可能性があります。
- ◎気温 5℃以下での施工は作業を中止するか適切な保温措置をとってください。
- ◎練り混ぜた材料は加水後 1 時間以内に使用し、練り足しは避けてください。
- ◎練り水、容器、攪拌機などはきれいなものを使用してください。
- ◎工事中は、周辺の部材及び仕上げ面を汚損しないよう、養生テープ等にて養生を行ってください。万一付着した場合は水で洗浄してください。
- ◎養生は仕上げ作業終了後、出来るだけ早急に除去してください。取り除きにくい箇所はカッター等を使用し取り除いてください。
- ◎使用後の器具は、お湯または水にて洗浄してください。
- ◎ロットにより多少色のバラツキがあります。
- ◎各工程において、粉塵、ゴミ、油分などの付着物を除去してから、各々の施工に進んでください。

### 保管上の注意

- ◎水濡れ禁止。
- ◎製品の保管は湿気の少ない場所にパレットなどを敷き、床面より離してください。
- ◎開封した材料は早めに使い切ってください。
- ◎オールインワンは、製造年月日より6ヶ月以内に使用してください。

### 輸送上の注意

- ◎紙袋の破れ、落下がないように荷崩れ防止等に配慮してください。
- ◎降雨等の水ぬれに配慮してください。

### 廃棄上の注意

- ◎都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

## その他

◎その他各製品包装などに記載の注意事項に従ってください。

◎不明な点は弊社事業所までお問い合わせください。

本施工マニュアルは、標準的な施工方法を示したもので、全ての現場に当てはまるとは限りません。各施工現場では、本施工マニュアルでは合致できない様々な状況が考えられますので、施工業者におかれましては、各々の現場状況にあった施工及び管理をお願いいたします。

本記載内容は現時点での資料・データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。使用にあたっては最新版であるかを確認してください。

---モノづくりから仕事づくりへ---



富士川建材工業株式会社

URL <https://fujikawakenzai.co.jp/>

e-mail: [mail@fujikawakenzai.co.jp](mailto:mail@fujikawakenzai.co.jp)

本社・本社工場	〒 236-0002	横浜市金沢区鳥浜町13番地	TEL 045-772-1811	Fax 045-772-0467
横浜支店	〒 236-0002	横浜市金沢区鳥浜町13番地	TEL 045-769-2326	Fax 045-773-1315
東京支店	〒 121-0061	東京都足立区花畑2-5-5	TEL 03-5686-5650	Fax 03-5686-5643
名古屋支店	〒 486-0952	愛知県春日井市追進町1-43	TEL 0568-35-5670	Fax 0568-33-5740
大阪支店	〒 567-0854	大阪府茨木市真砂2-12-1	TEL 072-630-6511	Fax 072-638-8766

ルルーティ古川 1F

広島事業所	〒 733-0832	広島市西区草津港2-4-19	TEL 082-270-0097	Fax 082-277-0422
福岡事業所	〒 812-0016	福岡市博多区博多駅南4-2-10	TEL 092-284-2197	Fax 092-284-2093

南近代ビル6F